

環境建設常任委員会

平成20年12月12日

午前9時30分 開 会

於大口町役場第1委員会室

1. 協議事項

1. 議案第64号 平成20年度大口町一般会計補正予算（第4号）（所管分）
2. 議案第68号 平成20年度大口町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
3. 議案第69号 平成20年度大口町農業集落家庭排水事業特別会計補正予算（第1号）

2. 出席委員は次のとおりである。（7名）

委員 長	鈴木 喜博	副委員 長	宮田 和美
委員	田中 一成	委員	酒井 廣治
委員	丹羽 勉	委員	土田 進
委員	倉知 敏美		

3. 欠席委員は次のとおりである。（なし）

4. 委員会条例第17条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	酒井 鍬	副町 長	社本 一裕
環境建設部長	近藤 則義	環境建設部 参事兼 環境経済課長	杉本 勝広
建設課長	鵜飼 嗣孝	都市開発課長	野田 透
下水道課長	江口 利光	建設課長補佐	柳瀬 昌宏
下水道課長 補 佐	武田 達也		

5. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局 次 長	佐藤 幹広
--------------	-------

(午前 9時30分 開会)

○委員長(鈴木喜博君) おはようございます。

ちょっと早うございますが、皆さんおそろいでございますので、環境建設常任委員会を開会させていただきます。本日は本当に早朝よりお忙しい中、御参集いただきましてありがとうございます。私どもに付託されております案件は3件でございます。慎重審議の方お願い申し上げまして、簡単ですがごあいさつにかえさせていただきます。よろしく申し上げます。

町長。

○町長(酒井 鉄君) 改めまして、皆さんおはようございます。

本日は環境建設常任委員会を早朝よりお開きいただきました。誠にありがとうございます。

先ほど委員長さんから御案内がありましたように、付託案件につきましては3件でございます。その他に陳情等がございますけれども、その他として、常任委員会協議会の中で報告をさせていただきます案件は工事の進捗状況、これは3ヵ月ごとに報告をさせていただいておるものでありますし、また、余野調整池の近々の状況についてお願い事項がございます。そうしたことで大きく2件をお願いするものであります。大変重要な案件であります。よろしくお願いを申し上げ、ごあいさついたします。

○委員長(鈴木喜博君) それでは、開会をさせていただきます。

まず、議案第64号 平成20年度大口町一般会計補正予算(第4号)(所管分)についてでございます。本会議で説明は受けておりますので、直ちに質疑に入りたいと思います。

御質問はありませんか。

(発言する者なし)

○委員長(鈴木喜博君) それでは、質問もないようですので、採決をとらせていただきます。議案第64号 平成20年度大口町一般会計補正予算(第4号)(所管分)につきまして、賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

○委員長(鈴木喜博君) 全員賛成でございますので、決すべものと決定させていただきます。

続きまして、議案第68号 平成20年度大口町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)についてでございます。御質問はありませんか。

(挙手する者あり)

○委員長(鈴木喜博君) 丹羽委員。

○委員(丹羽 勉君) 職員給与で716万6,000円減額になっておりますが、これは職員が5名から4名ということで1名削減されておりますが、これは下水道使用料の徴収を丹羽広域に委託したことによる削減というふうに理解してよろしいですか。

○環境建設部長（近藤則義君） ただいまの御質問ですが、この回答が100%合っているかどうかということはちょっと明確にお答えできないんですが、そういう意味合いも若干含んでおるのではないかなあということであります。それがすべての原因で1名減になったということは、この場ではちょっと御回答しきれないところがございます。一度人事の方に確認しないと、それが本当の正しい理由であったかどうかというのは明確なご回答ができませんけど、そういう要素もあったのかなあということは思います。

○委員長（鈴木喜博君） 他にございますか。

（挙手する者あり）

○委員長（鈴木喜博君） 倉知委員。

○委員（倉知敏美君） ちょっと不勉強で申しわけありません。9ページの下水道建設費です。特定環境保全公共下水道、これについて御説明いただきたいと思います。

○委員長（鈴木喜博君） 下水道課長。

○下水道課長（江口利光君） 特定環境保全公共下水道事業について御質問いただきましたが、五条川左岸につきましては公共下水道事業の区域と特定環境保全公共下水道事業の区域に、二つに分かれております。おおむね41号線付近が境になっておりますが、その下流につきましては公共下水道事業、上流部分につきましては特定環境保全公共下水道事業ということで分かれて事業を実施しております。

（挙手する者あり）

○委員長（鈴木喜博君） 倉知委員。

○委員（倉知敏美君） どういうふうに違うわけですか。

○委員長（鈴木喜博君） 下水道課長。

○下水道課長（江口利光君） どういうふうに違うかということなんですが、補助金がそれぞれの事業の中からいただけるという形になっておりまして、事業の中身そのものは何ら変わったものではございません。

（挙手する者あり）

○委員長（鈴木喜博君） 倉知委員。

○委員（倉知敏美君） 分かりました。あともう一つ、これちょっと要望になるかと思いますが、今下水は6割ですか、引かれているかと思いますが、企業の方の接続率がうちの地域ですといま一つ芳しくないような気がしております。時々、川の水が白くなったり茶色くなったりしますと、やっぱり一般の住民の方は、どうして下水が引かれておるのにこういう現象が起きるんだというような疑問を持たれまして、いろいろと御意見もよくお聞きしております。いろいろ企業によりましてそれぞれの御都合もあるかと思いますが、できるだけ早くつないでいただきますように御指導の方、ぜひ強力に進めていっていただきたいと、そんなことをちょっと御要望しておきます。以上でございます。

(挙手する者あり)

○委員長(鈴木喜博君) 田中委員。

○委員(田中一成君) 工場が接続してくれたということで、歳入の方では下水道の使用料の追加が800万円ありまして、歳出の方では左岸に対する負担金が1,200万円、入りが少なくて出る方が多いんですが、いずれも工場が接続してくれたからだということですから、この差というのは何でこんなに差があるんですか。

○委員長(鈴木喜博君) 下水道課長。

○下水道課長(江口利光君) 下水道の使用料につきましては、2ヵ月に1回の徴収ということになっておりますので、年間6期ある中で、現在まで4期分の額が既に確定をいたしておりますので、19年の実績を参考にしながら残りの2期分について試算をいたしました。その結果、当初予算と比較をいたしまして800万円、4.5%の増加を見込んでいるということでございます。

また、歳出につきましては、同じく19年度の入水量の実績と、20年度の4期分までの入水量の実績をもとにいたしまして、年間の入水量を見込んでいるということでございます。その結果、当初予算での水量と比較をいたしまして19%ほど伸びているということで、1,200万円の補正をお願いするというものでございます。

企業の水量がふえているわけですが、月に500立米を超える工場等につきましては、左岸では12社から13社ございますが、前年度の同期分と比較をいたしますと、既に4万8,000立米ほどふえております。それから、一般排水での増加の要因といたしましては、19年度中の見込み水量をもとにいたしまして20年度の水量を計算いたしているわけですが、結果的には19年度の実績を下回る形に現在のところ予算となっております。この結果、約1万5,000立米ほど増加を見込んでおります。こうしたことを加味いたしまして、今年度の汚水量を算出いたしております。

○委員長(鈴木喜博君) 他にございますか。

(発言する者なし)

○委員長(鈴木喜博君) それでは、ないようですので、議案第68号 平成20年度大口町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○委員長(鈴木喜博君) 全員賛成で可決すべきものと決定させていただきます。

次に、議案第69号 平成20年度大口町農業集落家庭排水事業特別会計補正予算(第1号)についてでございます。御質問はございますか。

(挙手する者あり)

○委員長(鈴木喜博君) 田中委員。

○委員(田中一成君) だいぶ担当職員の皆さんの残業が多いということが話題になったんですが、不

明水の調査というのはどんなテンポでやっているのかということと、不明水の現状はどんなふうなんでしょうか。

○委員長（鈴木喜博君） 下水道課長。

○下水道課長（江口利光君） 集落排水の不明水調査につきましては、17年度から3カ年をかけて管渠あるいはマンホールの調査をいたしております。その結果不良箇所があったわけですが、その不良箇所につきましては対応を既にいたしております。その結果、集落排水の不明水といたしましては、現在のところ約18%ほど下がってきております。

（挙手する者あり）

○委員長（鈴木喜博君） 田中委員。

○委員（田中一成君） こういう状態ですけれども、将来公共下水道と接続するという方向で考えておられると思うんですけれども、その際には50年耐用年数があるということですから、初めからの不明水というのが集落排水は問題になっていまして、非常に率が高いわけですね。管渠はいつごろ取りかえなきゃいけないというふうに想定していますか。

○委員長（鈴木喜博君） 下水道課長。

○下水道課長（江口利光君） 集落排水区域の中の管渠の取りかえということについては、現在のところ特に考えておりません。それで、大口町以外にもそれぞれ集落排水事業ということで事業をやっている団体があるわけですが、国の方への要望といたしまして、将来的に公共下水道の方へ接続ができないかというような意見が多くありまして、県あるいは国の方へそういった要望をしている状況でありまして、国の方からはそこら辺りの回答はまだいただけておりませんが、今後検討していただけるように要望活動は行っているというところでございます。

○委員長（鈴木喜博君） 他にございますか。

（発言する者なし）

○委員長（鈴木喜博君） ないようですので、議案第69号 平成20年度大口町農業集落家庭排水事業特別会計補正予算（第1号）の採決をとります。賛成の方は挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

○委員長（鈴木喜博君） 全員賛成ですので、可決すべきものと決定させていただきます。

以上で、付託されました案件はすべて終わりましたので、ここで委員会を閉じさせていただきます。

（午前 9時42分 閉会）

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

環境建設常任委員会

委員長 鈴木喜博